

## 『入所前後訪問時等のチェックリスト(環境因子シート)について』

本リストは、訪問指導の際に何を確認したら良いのか分からない、という声を受けて作成したものです。訪問指導の際に活用して頂くことを目的としているので、このリストをそのまま使用しなければならないというものではありません。

ただし、在宅復帰・在宅療養支援等指標(施設類型を決めるための指標)に入所前後、退所前後の訪問指導割合が含まれていることから、ただ訪問するだけではなく、ある程度質の担保が必要だと考えられます。そのような意味で、「今行っている訪問指導をより良いものにしたい」、「訪問する職員によって精度がバラバラで困っている」、「現状手探り状態で行っている」という様々な施設にこのリストを参考にして頂きたいと考えています。

### 《入所前後訪問時等のチェックリスト(環境因子シート)を使う上での質問と回答》

No	質問	回答
1	このリストはいつ使用すれば良いのか？	①入所前若しくは入所直後の訪問時 ②退所前の訪問時 を想定しています。 ただし、総合的な在宅復帰の可能性は入所中に変わる可能性があるため、入所1月後や3月後など、状況に応じて確認することをお勧めします。また、それ以外の項目についても、変化があったときや入所が長期化するとき等は必要に応じてチェックすることをおすすめします。
2	誰が記入するのか？	特に決まりはありません。 重要なことは「誰が記入するか」ではなく、ケアに関わる「皆が情報を共有する」ことです。訪問時にその場で記入できる項目もあれば、訪問時に得た情報を基に多職種で検討した方が良い項目もあると考えます。
3	項目が多くて大変。 全項目を埋める必要があるのか？	全項目を埋める必要はありません。本リストはあくまでも、訪問時の視点(環境因子を把握するための視点)として役立てて頂くために作成したものですので使いやすいように使ってください。
4	金銭状況は情報収集に抵抗がある。 また、利用者によっては確認する必要が無い項目、判断がつかない項目等があるが、そのような場合はどうすれば良いか？	情報収集がしにくい項目は無理に収集する必要はありません。 判断がつかないが記録しておいた方が良い情報等は、分かった時点で追記するという利用方法もあると考えております。
5	当施設ではR4システムを利用している。利用者背景はR4システムのプレインテークシートやA-1シート※と同じことを記載するのか？  ※プレインテークシート、A-1シート: R4システムを構成する用紙。ニーズや利用者背景等の記録に使用するもの	R4システムを利用している場合は、プレインテークシートやA-1シートとあわせて記録を確認できるようにしておけば、環境因子等の重複する項目は省略して構いません。 プレインテークシートに限らず、身体機能等を評価した記録(R4システムでいうA-2、A-3)等と合わせて活用することで記載の手間の省略、情報の整理・共有が容易になると思われます。

No	質問	回答
6	普段確認している項目がリストになり。追加しても良いのか？	追加して頂いて差支えありません。 一般的に想定できる項目を挙げております。地域の環境や個人の状況によっては、本リスト以外の項目が必要になる場合もあると考えられます。
7	書き方が分からない。決まった書き方があるのか？	決まった記入の仕方はございませんので、施設で使いやすい方法でご記入ください。書き方の例を幾つか事例集に掲載しております。施設の中ではある程度記載方法等を統一しておいた方が、情報共有の観点から良いかと思われます。
8	環境因子『ヒト』の書き方が分からない。全体通して文章で書いた方が良いのか、それとも各項目で○×のような記載の方が良いのか？	どちらの方法も考えられます。事例集ではどちらのパターンも掲載しています。
9	各項目のステージの判断がつかない。判断基準等の指標はあるのか？	個人差、地域差が非常に大きいため基準はありません。多職種で判断してください。ある条件が整えば在宅復帰可能だが、その条件が整わない限りは在宅復帰が出来ない等、特殊な条件も多いと考えられます。そのような場合は、無理にステージ評価するのではなく、備考欄にそのことを記載するのみとするという方法もあります。
10	医療職以外が訪問した場合、薬の情報は何を得たら良いか分からない	どういった薬が処方されているのか、残薬がどうなっているかなどは、写真で記録をして、施設に情報を持ち帰るという方法も有効と考えます。
11	住環境ステージングの「生活の場が無い」とは何を指すのか？	何らかの理由で家がない、長期入院していたため病院や施設を出ても居場所がない、等を想定してます
12	住環境の情報を文章だけで記録するのは困難	写真利用等も考えられます。把握しやすい方法で記録することを推奨します。参考として事例集に掲載しております。
13	退所後に居宅のケアマネや家族等に情報を提供しようと思うがこのリストだけだと説明がしづらい。また、家族に見せにくい項目もあるがどうしたらよいか	このリストから得られた情報を基に簡単に別の用紙に報告書のような形でまとめるという方法が考えられます。参考として事例集に掲載しております。